

平成 2 9 事業年度

# 決 算 報 告 書

国立大学法人佐賀大学



## 平成29年度決算報告書

国立大学法人佐賀大学

(単位：百万円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算－予算)	備考
収入				
運営費交付金	11,481	10,891	△ 590	(注1)
うち補正予算による追加	—	—	—	
施設整備費補助金	819	776	△ 43	(注2)
うち補正予算による追加	—	—	—	
船舶建造費補助金	—	—	—	
補助金等収入	209	633	424	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設 費交付金	34	34	—	
自己収入	22,773	24,269	1,496	
授業料、入学料及び検定料収入	4,148	4,169	21	
附属病院収入	18,372	19,785	1,413	(注4)
財産処分収入	19	—	△ 19	(注5)
雑収入	234	315	81	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金 収入等	1,636	2,000	364	(注7)
引当金取崩	175	154	△ 21	(注8)
長期借入金	936	936	—	
貸付回収金	—	—	—	
目的積立金取崩	755	754	△ 1	
出資金	—	—	—	
計	38,818	40,447	1,629	
支出				
業務費	34,551	33,689	△ 862	(注9)
教育研究経費	13,747	12,830	△ 917	
診療経費	20,804	20,859	55	
施設整備費	1,789	1,746	△ 43	(注10)
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	209	633	424	(注11)
産学連携等研究経費及び寄附金 事業費等	1,636	1,963	327	(注12)
貸付金	—	—	—	
長期借入金償還金	624	593	△ 31	(注13)
大学改革支援・学位授与機構施設 費納付金	9	—	△ 9	(注14)
出資金	—	—	—	
計	38,818	38,624	△ 194	
収入－支出	—	1,823	1,823	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算段階では予定していなかった運営費交付金が交付されたが、業務達成基準を適用した事業の繰越により、予算額に比して決算額が590百万円少額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、主として「ライフライン再生（排水設備等）」が翌年度に繰越になったため、予算額に比して決算額が43百万円少額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった補助金が交付されたため、予算額に比して決算額が424百万円多額となっています。
- (注4) 附属病院収入については、診療単価及び手術症例数の増加等により、予算額に比して決算額が1,413百万円多額となっています。
- (注5) 財産処分収入については、売却予定の土地が売却できなかったため、予算額に比して決算額が19百万円少額となっています。
- (注6) 雑収入については、特許権等の実施料及び学校財産利用料収入の増収により、予算額に比して決算額が81百万円多額となっています。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、主として産学連携等研究収入の獲得に努めたことから予算額に比して決算額が364百万円多額となっています。
- (注8) 引当金取崩については、任用計画の見直しにより、引当計上目的に従って当年度に使用した額が減少したため、予算額に比して決算額が21百万円少額となっています。
- (注9) 業務費については、運営費交付金に業務達成基準を適用した事業の繰越を行ったこと、及び業務の実施にあたり経費節減に努めたこと等の理由により、予算額に比して決算額が862百万円少額となっています。
- (注10) 施設整備費については、(注2)に示した理由等により、予算額に比して決算額が43百万円少額となっています。
- (注11) 補助金等については、(注3)に示した理由等により、予算額に比して決算額が424百万円多額となっています。
- (注12) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、執行計画を見直したことにより、予算額に比して決算額が327百万円多額となっています。なお、前年度からの繰越額による使用額は874百万円となっています。
- (注13) 長期借入金償還金については、借入利率の変更に伴い、予算額に比して決算額が31百万円少額となっています。
- (注14) 大学改革支援・学位授与機構施設費納付金については、(注5)に示した理由等により、予算額に比して決算額が9百万円少額となっています。